

横浜教育ビジョン 2030

【横浜の教育が目指す人づくり】

自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

【横浜の教育が育む力】



【横浜の教育の方向性】

多様性を尊重し、つながりを大切にした教育を推進します



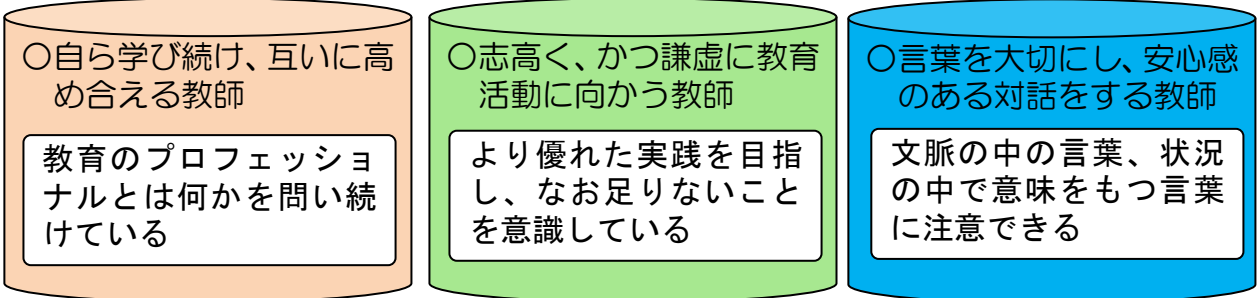
学校教育目標

自分が好き 友だちが好き 学校が好き まちが好き

- 知…自分から進んで問題を見つけ、考え判断して取り組み、自分の見方や考え方を深めていく子どもを育てます。
- 徳…互いに認め合い、支え合いながら、安心して個性を発揮し、伸ばし高め合える子どもを育てます。
- 体…自分の健康に関心をもち、進んで健康保持に努めるとともに、自らの体力を向上させようと取り組む子どもを育てます。
- 公…自分が生活する地域「まち」について理解を深め、関心を高めながら積極的に地域「まち」とつながっていく子どもを育てます。
- 開…多様な文化や伝統に積極的に関わり、それぞれのよさを受け容れ、視野を広げ、進んで行動・実践していく子どもを育てます。

子ども・保護者・地域から信頼され、期待に応えるために

教師は鑑（手本）であると同時に、子どもの状態を映し出す鏡にもなります。そしてもちろん、子どもは教師の鏡となります。子どもは教師の表情、体の動かし方をよく見ており、声の調子なども感じ取っています。したがって教師の生き方そのものがクラスの雰囲気をつくっているといっても過言ではありません。教師が、子どもの前に立つときに最高の状態を維持していること、教師という役割を徹底してできることが私たちの仕事の根幹になります。教育活動を進めていくときに次の3つを柱として心に留めています。



子どもの前に立つときに最高の状態を維持している。

今年度の重点取組分野

確かな学力

- 国語の授業研究を基盤とした言語能力の育成
- 生活科や「横浜の時間」を中心とした主体的・問題解決的学習の推進

豊かな心 健やかな体

- 道徳の時間や各教科の授業、「挨拶運動」を通して、いじめの起きにくい風土づくり
- 長縄の取り組みによる体力の向上

いじめへの対応

- 児童支援専任教諭を中心とした組織的な支援体制
- 子安スタンダード、ユニバーサルデザインが浸透した、だれもが安心できる環境

地域との協働・ キャリア教育

- 地域とともにつくる新しい子安小学校
- プロフェッショナルから学ぶ、野菜づくり、お店屋さん体験、太陽油脂石鹸づくり体験、プログラミング教育

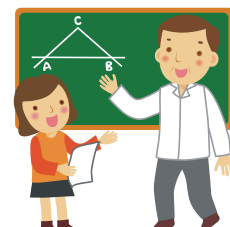
○日々の授業・諸活動での心の通う児童指導

- ・よい行動をしっかりほめる、望ましくない行動は子どもがわかる言葉できちんと叱る
- ・問題を通して子どもが成長できるよう、ともに考える姿勢をもつ
- ・問題行動、トラブルはその日のうちに対応（保護者連絡も含む）する
- ・担任だけで抱えずチームで対応（学校いじめ防止基本方針を参照）



○授業改善は短期PDCAを基本に長期PDCAを意識して

- ・教材のよさを最大限に引き出し、子どもを未知の世界へ^{いざな}誘う
- ・知的好奇心をくすぐる内容、展開が随所にある授業
- ・十分な活動、思考が保障される時間配分、場所（環境）の提供
- ・魅力的な授業の公開、データの共有（学年研、重点研、メンター研）



○言語活動の充実

- ・言葉を大切にした適切な表現
- ・表現する側の工夫、聴く側の姿勢
- ・言語活動によって培われる力の共有

○読書活動の充実

- ・「朝読書」「読み聞かせ」の推進
- ・集中して読む力、想像する力
- ・メディアセンターの効果的な活用



○音楽活動の充実

- ・音楽科の授業 ・毎月の歌
- ・行事や集会の歌や合奏
- ・ウインターコンサート

情操教育の充実



○造形活動の充実

- ・子どもらしい生き生きとした素直な表現
- ・図工の授業、校内作品展の充実

